

遠く広く深く見つめて

坂井市丸岡中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	4回8日

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	53人
授業ボランティア（含：低ボラ）	0人
登下校支援ボランティア	0人
その他（保健体育「AED講習会」）	48人

(3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

※心の教育の充実※

1 3年生 家庭科「保育体験学習」

毎年、3年生の家庭科の「保育体験学習」を、隣の高椋小学校に併設して高椋幼保園にて、全クラス行っている。

今年は、クラスごとに多様な保育活動の計画をたて、ただ時間を一緒に過ごすだけでなく、いかに子どもたちを笑顔にしてあげられるかを課題にとりくんだ。大きなお兄さんお姉さんとして、小さい子の面倒を見ることによって思いやりの心が育っている。



高椋幼保園にて

2 地域と連携したボランティア活動

本校では、毎年「チャレンジ21」と称して、いろいろなボランティア活動を行い、ポイントが貯まったら表彰を行うようにしている。しかし、その内容が学校の清掃を自ら手伝うとか、資源回収に親と参加するなどが多く、地域の活動への参加が少なかった。

そこで今年度は、丸岡中学校創立50周年ということもあり、できるだけ地域の活動に中学生が参画するように、広報活動を積極的に行った。

そして、公民館や地域の各種団体から依頼されたボランティア活動などがあり、個人やグループだけでなく、部活動単位で参加した。

主な活動としては、「クリーンアップウォークラリー」「公民館まつり司会・募金集め」「古城マラソン封筒づくり」「霞の里（老人ホーム）交流会」「霞の里クリスマス会参加」「古城祭りスタッフ」「訪問演奏」「グリーンロードレース受付」「小学生サッカー大会審判補助」などがあった。のべ323名の生徒が、学校ではなく地域でのさまざまな社会体験活動に参加することができ、地域に貢献できた。

成果と課題

今年度、本校は創立50周年となり、体育祭・文化祭などの学校行事やPTA活動の中でも、できるだけ地域に根差した活動を行った。地域に感謝の気持ちを込めて、中学生が地域に参画する場を多く設定した。そのことで、地域の学校という意識が強くなったと思われた。今後も、心の教育の充実のために、地域に根差した教育活動を継続していくことが大切である。